

“こころの痛み”に寄り添うコミュニケーションコース（技能編）

【概要】基礎編で学んだことを踏まえ、この技能編では6つの基本的なスキルを身につけることと、具体的な事例を通して基礎編で学んだ知識を応用することができること、さまざまな状況に対してある程度の対処ができるようになることを目指して講義・演習を進めていきます。

【対象】技能編においては、“こころに痛みを抱えるすべての人たちに寄り添うため”に必要な基本的なコミュニケーション・スキルを修得することに興味・関心のある方が対象です。ただし、基本的には2024年度において基礎編を修了された方が対象となりますので、ご注意ください。

【本講座を受講することで獲得を目指す知識・技能等】

コミュニケーションに関する基礎知識を総合的に踏まえたコミュニケーションスキルの修得を主体とした内容となります。

【講師】吉川 眞（広島国際大学 客員教授）

【定員】15名

【その他】技能編での配布資料は要点のみを記したものとしますので、さらに詳しく知りたいと思われる方は、サブテキストとしての出版物（こころの痛みに寄り添うためのコミュニケーション：スキル編、2000円）をご用意いたしますので、必要でしたら受講申し込み時、あるいは初回受講時にお申し込みください。

会場：前期受講者 東広島キャンパス
後期受講者 呉キャンパス

	前期	後期	講座名	講座内容
	※同じ講義内容になりますので、いずれかのキャンパスでお申し込みください			
1	5月7日（水） 13:00-15:00 （東広島C）	10月4日（土） 10:00-12:00 （呉C）	ゲシュタルトの歪みと自己覚知	次回からの演習に入る前に、基礎編の内容を別の角度から押さえ、理解を深め、広げます。コミュニケーションにおいて用いられる非言語サインは、送り手が自分の意思を表現し、受け手がその表現を言語のように読み取ることにより相互理解が成立します。ただ、こころに痛みを抱えるそれぞれの方が表す言語表現も非言語サインもその意味することは個人的、社会的な意味や歪みが影響しているため、個別的な理解をする必要があることを、また、得た情報は単独ではなく文脈を踏まえた統合的な繋がりを持たせて分析・理解すべきことを学びます。
2	6月4日（水） 13:00-15:00 （東広島C）	11月1日（土） 10:00-12:00 （呉C）	スキル1：焦点を当てるとともに流れに沿った反応をする スキル2：効果的に質問をする	相手に注意を向け、話の内容にしっかりとついていく（理解する）というスキルは、こころに痛みを抱える人に最善の利益をもたらすことを意図した面接には欠かすことが出来ないもので、他のスキルに先立ってしっかりと修得しておかなければならないスキルなのです。また、感情反射のスキルは、こころに痛みを抱える人が抱えている気持ちを知り、理解することが出来なければいけない上に、言葉で言い表していることだけではなく、どのように言い表しているかに気づくことも重要なことです。そこで、会話事例を一つひとつ検討することにより、これらのスキルの修得を目指します。
3	7月16日（水） 13:00-15:00 （東広島C）	12月6日（土） 10:00-12:00 （呉C）	スキル3：感情の反射 スキル4：内容の反射	コミュニケーションを促進する効果的な質問の仕方を修得するためには開かれた質問、閉じられた質問の知識に加えて、こころに痛みを抱える人からの反応を促すための援助者側からの“最低限の促し反応”（話し手の反応を促進するための反応で、たとえば頷き、なるほど、うんうんといった相づちなど）に関する知識が必要です。また、的確に感情反射するスキルを修得することは、こころに痛みを抱えている人との信頼関係を構築する上で必要なことです。そこで、会話事例を一つひとつ検討することにより、これらのスキルの修得を目指します。
4	8月6日（水） 13:00-15:00 （東広島C）	1月10日（土） 10:00-12:00 （呉C）	事例研究	拙著の「こころの痛みへの気づき-患者への共感的支援のために」から2、3の事例を取り上げ、基礎編、スキル編を通してこれまでに学んだ知識を総動員して頂き、皆さんと一緒に事例研究をしたいと思っております。ちなみに、事例研究というのは、一つひとつの事例の中の一つひとつの情報や統合・連結させた情報に対してさまざまな角度から“仮説”を立て“検証する”というプロセスを踏むことで、こころに痛みを抱える人にとって最善の利益をもたらす関わりとは何かについて考える力を修得する手法です。
5	9月3日（水） 13:00-15:00 （東広島C）	2月14日（土） 10:00-12:00 （呉C）	バイアスについて	相談援助に携わることは、非常に大きなストレスをもたらします。もちろん、ストレスは人の成長に欠かすことが出来ない要素ではありますが、もしかするとそのストレスは、こころに痛みを抱えるひとやその方が抱える問題などに対してあなた自身が持っているバイアス（色眼鏡）が大きく関わっている可能性があります。しかも、そのバイアスにより、相手の方が立ち上がるとす力を損なうことが往々にしてあります。そこで、お互いの成長に繋がる“対話”を促進することができるように、お自らのバイアスを自己覚知することに取り組んでみたいと思います。

【留意事項】

- ・この講座は2024年度に「こころの痛みに寄り添うコミュニケーション（基礎編）」を受講した方が対象です。
- ・開講日は前期受講の方は5月から月1回、計5回の講義です。第1水曜日（東広島キャンパス：13:00～15:00）、7月は第3水曜日を予定しております。後期受講の方は10月から月1回、計5回の講義です。第1土曜日（呉キャンパス：10:00～12:00）、1月は第2土曜日を予定しております。
- ・8割以上（4回/5回）講座に出席された方には、修了証を発行いたします。